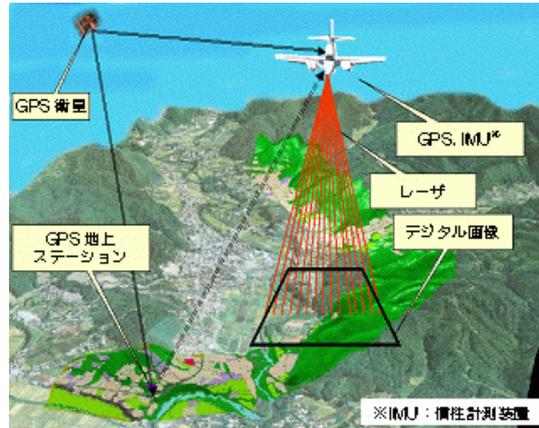


## LPプロジェクトにおける治水安全度評価の流れ

### ①航空レーザ測量による地形データの取得

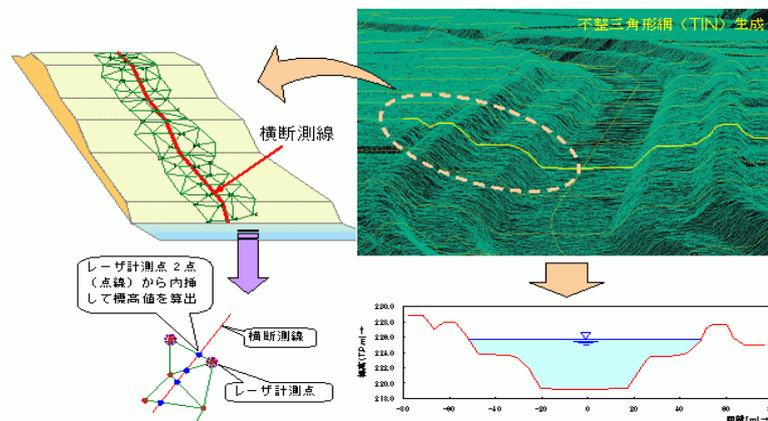
航空機に搭載した航空レーザスキャナから地上に向けてレーザパルスを発射し、反射して戻ってきたレーザパルス解析することで位置・標高データを取得します。



航空レーザ測量の概念

### ②河道横断面図の作成

航空レーザ測量の結果を元に、TIN(Triangulated Irregular Network：不整三角形網)と呼ばれる擬似的な三次元データを作り、それを元に河道横断面図を100m間隔で作成します。



TINと横断面図の作成

### ③流量計算および水位計算

別途作成した規模別（10年に1回、30年に1回の確率で発生など）降雨データをもとに、②で作成した横断面図より各断面の流量計算・水位計算を行います。

### ④安全度の評価

③の水位計算結果と堤防の高さを比較し、安全度の評価を行います。今回の公表では、別添図のように区間ごとに「何年に1回くらい降るような大雨に耐えられるか」という視点で治水安全度を平面的に表現しています。

## 治水安全度評価の対象河川について

今回のプロジェクトにおける治水安全度評価は、全国109の一級水系内の河川（総延長約8万8千キロメートル）のうち、河川周辺に家屋等の資産があり、低平地のため洪水により氾濫するおそれがある区間等（約4万キロメートル）を対象として実施しています。

4月8日現在、下記9水系について評価が終了しています。他の水系についても評価作業中であり、結果が得られ次第、順次公表していくこととしています。

### 4月8日現在評価済みの水系（流域の都道府県）

- ・ 留萌川水系（北海道）
- ・ 名取川水系（宮城県）
- ・ 那珂川水系（茨城県、栃木県）
- ・ 手取川水系（石川県）
- ・ 菊川水系（静岡県）
- ・ 由良川水系（京都府、兵庫県）
- ・ 芦田川水系（広島県）
- ・ 重信川水系（愛媛県）
- ・ 大分川水系（大分県）